

第2学年 学級活動学習指導案

日 時 平成20年10月17日(火) 6校時
学 級 2年A組(男子12名 女子10名 計22名)
授業者 熊谷 香織

1 単元名 適性と進路

2 単元について

(1) 教材観

昨年度、「職場見学」や「身近な人の職業調べ」などを通し、働く人々の思いや仕事を身近に感じ、職業や働くことへの関心を持たせてきた。

今年度は、職場体験学習を通じて、更に働くことへの意欲を高め、望ましい職業観を育てることをねらいとしている。働くことへのイメージ、働くために必要なことを理解しつつあるが、「自己理解」が不十分であり、深く考えられたものではない。

そこで、将来の生き方と関連させながら考えていく力を身に付けさせるためにも、自分自身を客観的に見つめ、生徒がお互いのよさを理解し、今後の中学校生活をどのように送っていくかということ、より深く考えさせていきたい。

(2) 生徒観

全体的に素直で、明るい生徒が多く、諸活動に対して真面目に取り組むことができる。特に学校・学年行事では失敗を生かし、改善させようという姿勢が見られるようになってきた。

しかし、日常生活において、根気強く取り組む姿勢には欠ける生徒も数人見られ、途中であきらめたり、興味の向かないことに対しては進んで取り組もうとしない。また、個を優先させてしまいがちであり、他者とのコミュニケーション能力向上や、集団としての意識の改善が望まれるところである。

生徒は、自己と他とを比較し、その違いから互いの特徴や個性を知るが、その多くは長所より短所の方に注目しがちである。昨年度、『自分を知る、友達を知る』という単元で他から長所を教えてもらい、自己の意外な一面に気づいたが、自分に自信を持ち、自己理解や自己向上につなげようとする意識はあまり高まらなかった。現在でも客観的に自己を見つめることができず、自己の適性を理解する力は弱い。そのため、中学校卒業後は高等学校への進学を考えてはいるものの、目的意識は希薄で、自分の適性や将来就きたい職業と関連させて進路を考えている生徒は少ない。

(3) 指導観

本単元では、生徒が自分のよさに気づき伸ばそうという意欲が持てるよう、再度自分自身を見つめ自分を知る活動や、友人の理解を通して自分を知る活動などを取り入れながら、自分を生かす職業について考えさせたい(自他の理解能力の育成)。そして、これらの活動を通して進路についての夢や希望を抱かせ、その実現のためには強い意志と努力が必要であることを理解させたい(課題解決能力の育成)。

3 単元指導計画（総時数4時間 本時2／4）

時	題 材	目 標	主な学習活動
1	職業と適性について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の就きたい職業や興味ある職業について理解を深めることができる。 <p>【職業理解能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループでの話し合いを通して、他の人の意見を聞きながら職業について考えることができる。 <p>【コミュニケーション能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適性の意味を考える。 自分はどんな職業に興味があるのかを考える。 その職業はどんな人に向いているのかを考える。また、職場体験で体験した職業はどんな人に向いているか話し合う。 適性を確認するための方法について考える。
2	自分のよさと仕事について考えよう・・・(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 他の人から見た自分のよさを知り、自分自身を客観的に見ることができる。 <p>【自他の理解能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を参考に、これからの行動について意欲的に考えることができる。 <p>【課題解決能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のよさについて考える。 『自分発見シート』から自分のよいところを選ぶ。 自分では気づかない自分のよさを友達から見つけてもらう。 自分のよいところと『職業型紙』を見比べ、今後の生活・行動を考える。
3 4	自分が生きる自分の道	<ul style="list-style-type: none"> 職業適性を理解し、自分の進む道を様々な面から考えることができる。 <p>【計画実行能力】</p> <p>【選択能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の人の考えを聞き、人それぞれ違った考えがあることを知る。 <p>【自他の理解能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに学習したことを考えながら、もう一度進路を見直す。 資料から、様々な進む道があることを読み取る。 将来を見通して生活していくことの大切さを考える。 20歳の自分を見通し、自分史を作成する。

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- 他の人から見た自分のよさを知り、自分自身を客観的に見ることができる。

【自他の理解能力】

- 活動を通して、これからの行動について意欲的に考えることができる。

【課題解決能力】

(2) 本時の展開

段階	指導内容	生徒の学習活動	留意事項(・)と評価(※)
導入 3分	1. 前時を振り返えさせる。 2. 本時の内容と課題を確認させる。	・ 前時の学習を振り返る。	
自分のよさと仕事について考えよう・・・。			
展開 42分	3. 『自分発見シート』の項目から、自分のよいところに○印をつけさせる。 4. 3～4人のグループで、お互いにその人のよいところに○印をつけさせる。 5. 『自分発見シート』と『職業型紙』を比較させる。 6. これからの行動について考えさせる。	・ 『自分発見シート』の項目を見て、自分のよいところや得意なことに○印をつける。 【自他の理解能力】 ・ グループ内で『自分発見シート』を交換し、その人のよいところや得意そうなことに○印をつける。 ・ 『自分発見シート』を見て感じたことを記入し、発表する。 【自他の理解能力】 ・ 『自分発見シート』の○の数を数え、『職業型紙』に記入する。 ・ 一番数の多かった職業に、自分の名前の書かれたカードを貼ってくる(黒板)。 ・ 2つを比較して分析したことを記入し、発表する。 【自他の理解能力】 ・ 分析結果を参考に、さらに伸ばしていきたいことや変えていきたいことなどを記入する。 ・ 何人か発表する。 【課題解決能力】	・ あまり悩まず、直感的に○印をつけるよう指導を行う。 ※自分の長所や特技について考えることができたか。 ・ お互いによさを見つける活動に進んで取り組むよう指導を行う。 ※自分の考えと、他の人の考えを比較して、感じたことを書くことができたか。 ・ 分析の際には、集中できるようグループから個の活動に戻す。 ※『自分発見シート』と、『職業型紙』を比較して、感じたことを書くことができたか。 ※本時の活動を通して、これからの行動について意欲的に考えることができたか。
終末 5分	7. 本時のまとめをする。 8. 次時の予告をする。	・ 「適性がある、ない」という単純な分析だけではなく、希望の職業に就くためには強い希望やこれからの努力が大切であることを確認する。	

(3) 評価

- ・ 他の人から見た自分のよさを知り、自分自身を客観的に見ることができたか。
- ・ 活動を通して、これからの行動について意欲的に考えることができたか。